

環境整備 ～美化活動への心構え～

おはようございます。全校朝礼では、いつも何を話そうかと考えます。校長として短い時間の中で、何かひとつでも、皆さんのためになる話をしたいと思っています。今日は、私が小学生の時に聞いた校長先生の話をしてします。私が小学生ですから随分前の話ではありますが、現在でも役に立つ内容なので、皆さんにお伝えします。

当時、私が在籍していた小学校は、建設されて20年程の校舎でした。清瀬中学校の校舎はもう50年は経とうとしていますから、少し新しい校舎です。ただ、とても20年も経つような校舎には見えませんでした。なぜならば、その学校には、学校目標と同じくらい大切にしている言葉がありました。

「 建てた時よりも美しく 」

という言葉でした。小学生時の私にはありきたりの言葉でした。しかし、のちの私の人生で何度もこの言葉に向き合うことがあり、今も大切にしている言葉のひとつです。具体的には次の三つのことからです。

一つは、きれいな環境の中では、いろいろなことがスイスイとはかどるものです。よく、整理整頓が大切だと言われます。机の上や周りがきれいで整理整頓されていると、作業や勉強が効率よく進みますね。試験前の自宅での試験勉強を想像してみましょう。また、きれいな部屋は居心地もよいです。

二つは、ものを大切に作る心や、やさしさを感じます。形あるものは時間の経過とともに古くなって汚くなったり、壊れたりします。しかし、大切に扱うこと、手入れをして使っていくことで、より長く使えたり、古き思いでになったりします。

三つは、向上心や努力することを教えてくれます。「建てた時よりも美しく」するには、相当な努力が必要です。掃除も創意工夫しなくてはならないでしょう。「こうすればもっときれいになるだろう」「ここは手を抜いて掃除をしてはいけない」など、日々、努力しないとイケません。

今、皆さんは、整美委員を中心に校内の美化活動に取り組んでいます。当番とは、現状を維持継続するために与えられた役割です。「建てた時よりも美しく」するために、「より磨こう」「丁寧に使って、後輩たちも気持ちよく使えるようにしましょう」「限られた時間の中で協力してすみずみまできれいにしよう」といった工夫をして係活動に取り組んでほしいと願っています。理由は、この取組が、校舎がきれいになるのはもちろんのこと、皆さんたちを成長させてくれからです。

今日は、全員の皆さんに関係する美化活動の心構えについて話をしました。

ちなみに外観からしか見ていませんが、その小学校は今でも昔のようにきれいです。卒業生として在校生に感謝していますし、誇りに思っています。